

全国瞬時警報システム (J-ALERT)

町では、時間に余裕のない事態に関する情報を、国(内閣官房・消防庁)が人工衛星を用いて、町の防災行政無線を直接起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達する全国瞬時警報システム(J-ALERT)を運用しています。

■お知らせする情報

1. 自然災害に関する主な情報

- ・緊急地震速報(推定震度5弱以上)
- ・震度速報(推定震度5弱以上)

○自然災害に関する放送例

【緊急地震速報】

「チャイム：大地震(おおじしん)です。大地震です」3回繰り返し

【震度速報】

「チャイム：震度5弱の地震が発生しました。火の始末をしてください。テレビ・ラジオをつけ、落ち着いて行動してください」3回繰り返し

2. 国民保護(武力攻撃など)に関する情報

- ・弾道ミサイル情報
- ・航空攻撃情報
- ・ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- ・大規模テロ情報

○国民保護に関する放送例

【弾道ミサイル情報】

「サイレン14秒吹聴：ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください」3回繰り返し

- ・J-ALERTは、自動的に放送するシステムのため、昼夜を問わず放送されます。
- ・緊急地震速報の放送は、気象庁発表の緊急地震速報で、地震まで一定時間の猶予がある場合のみ放送を行います。したがって、震源が近い時や直下型地震の場合は、地震到着の前に間に合わないことがあります。

※J-ALERTの概念図

